

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①論理的な思考力を養い、主体的・対話的で深い学びを実現する指導をする。</p> <p>②教育課程の実施状況を評価し、その改善を図る。</p> <p>③プログラミング教育を通して論理的に考え、自ら課題解決できる力を育成する</p>	<p>①学習内容の確実な定着のために、予習復習の機会の充実を図る。</p> <p>③「自ら課題解決ができる」ことに、より重点を置き生徒の能力を育成する。</p>	<p>①新たな内容を指導する際に、既習内容を意図的に再度取り上げ、学び直しの機会を設定する。</p> <p>③各教科の授業の中にプログラミング教育の要素を取り入れる。</p>	<p>①単元領域等の系統性を確認し、内容理解が不十分な生徒について、個別指導の充実が図れたか。</p> <p>③生徒が自ら問題解決できるようになったか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒情報の全職員での共有化を、教育相談コーディネーターを中心としてはかり、教育相談体制を充実させる。</p> <p>②学業との両立に留意し、部活動の適切な運営に努める。</p>	<p>①生徒情報を全職員で共有し、担当学年以外の生徒に対しても適切な対応ができるようにする。</p> <p>②生徒とのコミュニケーションを十分にとり、生徒の興味・関心・思いをしっかりと考慮したうえで効果的な活動を行う。</p>	<p>①生徒情報の共有化のために、生徒情報交換会を年に3回開催する。</p> <p>②「部活動指導ガイドライン」に基づいた適切な活動時間等を設定し、生徒の目的や目標に応じた活動の場を設定する。</p>	<p>①生徒情報交換会が定期的で開催されたか。臨時のケース会議等が適切に開催されたか。</p> <p>②部活動アンケートで「目標や練習の目的を意識して、活動している」「部活動と勉強の両立」「部活動の状況に満足」の結果が半数を超えたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒が主体的に進路を開拓できるような仕掛けをし、変化の早い社会に柔軟に対応できるような能力を育む。</p> <p>②生徒自ら進路について考えるための情報を、教員が生徒より先回りして支援できるような、進路に関する教員のスキルアップをめざす。</p>	<p>①生徒のキャリア形成を促すための、進路行事・情報共有の組織化を図り、生徒の進路開拓意識を高め、生徒が主体的に行動できるようにする。</p> <p>②的確な進路情報の提供を迅速にできる組織づくりをおこない、新課程入試にしっかりと対応する。</p>	<p>①各学年に応じた進路講演会、説明会等をおこない、進路意識を高め、生徒が主体的に進路情報の収集ができるようにする。</p> <p>②新課程にも対応した最新の情報分析・発信をおこなう。</p>	<p>①各学年の進路行事が計画的に実施されたか。</p> <p>②職員対象の講習会が定期的に行われたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①様々な場面で地域及び外部機関と連携した教育活動を展開し、生徒の学びを深める。</p> <p>②防災意識を高める機会を提供し、地域に信頼される学校作りを推進し、地域に貢献する。</p>	<p>①外部の人材や教育力を活用し、生徒の視野を広げる。</p> <p>②地域と連携し、非常時に対応できるネットワークを構築する。</p>	<p>①PTAや外部機関と連携し、講演会や研修会を企画し実施する。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、非常時に適切に行動できるようにする。</p>	<p>①保護者及び生徒のニーズにあった講演会や研修会を提供できたか。</p> <p>②防災訓練を実施できたか。また地域住民が参加したか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教職員の働き方改革を推進し、会議の効率化をはかる。</p> <p>②業務についてはダブルチェックを行い、不祥事防止に努める。</p>	<p>②成績、進路、及び入学者選抜業務関係等において、ダブルチェックを心がけて、不祥事防止に努める。</p>	<p>②業務に係るマニュアルの内容を事前に全職員で共有して、業務にあたる。</p>	<p>②マニュアルの内容を確認して、事故を未然に防ぐことができたか。</p>